

13. 情報システム運用委員会から

(1) 数学会一般講演申込みオンライン化について

評議員会での理事長による説明にありましたが、日本数学会は春の年会および秋季総合分科会における一般講演の申し込みのオンライン化に取り組むことになりました。そのために、情報システム運用委員会を中心とするワーキンググループが構成され、その作業にあたることになりました。11月の定例理事会で正式にワーキンググループの発足が認められますが、その準備として委員会が作業や諸方面との折衝にあたっております。

現在の準備状況ですが、プログラム編成などの事務的な流れを考慮して、プロトタイプを構築しております。今後はこのプロトタイプを実際の業務に合わせる作業を進めてまいります。

2010年9月の名古屋における秋季総合分科会までの「数学通信」には、重要なお知らせやシステムに対するチュートリアルを掲載してまいりますので、お見逃しのないようお願いいたします。

(2) 一般講演のためのクラスファイル

日本数学会のウェブページには「学術的会合」のページ

<http://mathsoc.jp/meeting/>

があります。そこには、

- * 一般講演申込書 (PDF)
- * 同記入説明 (PDF)
- * 学会アブストラクト書式について (PDF) がリンクされています。今回、この「学会アブストラクト書式」に従うクラスファイルを「学会アブストラクト用クラスファイル」

<http://mathsoc.jp/meeting/texstyle/>

において公開します。このページは「学術的会合」のページからもリンクしてあります。

(3) 一般向けの情報ページの内容拡充について

日本数学会のホームページには、重要な情報を掲載する Top Page, 一般向けの情報を掲載する「数学会の社会貢献」のページ, 会員及び数学研究者向けの情報を掲載するペー

ジがあります。この度、一般向けの情報ページ

<http://mathsoc.jp/outreach.html>

の内容拡充を図るために、会員校等が開催する公開講座など、一般の方々に対して開かれる各種催し物に関する情報を集約して、掲載していくことといたしました。その情報の集約方法については、また次号で改めてご説明いたします。その他にも、ページの内容拡充に関してご意見、ご要望などございましたら、情報システム運用委員会まで是非お寄せください。

(4) ワークショップ「数学ソフトウェアとフリードキュメント IX」

情報システム運用委員会の後援で、表記のワークショップが下記の要領で開催されました。

記

後援：日本数学会情報システム運用委員会

日時：2009年9月23日

13時00分から18時00分

場所：大阪大学 豊中キャンパス

理学部本館 D401

講演：

木村欣司 (京都大学), 「GotoBLAS 入門」
横田博史 (東芝インフォメーションシステムズ), 「たのしい Yorick」

田中勝 (福岡大学), 「Processing による数理モデル教材作成とその事例」

石井政伸 (山口大学), 「openFrameworks 等のライブラリを用いたアプリケーション開発」

Jacques Garrigue (名古屋大学), 「Objective Caml がなぜバグを書かせないのか」

(5) Digital Mathematical Library の国際研究集会への行木委員の派遣・日本数学会の DML

デジタル数学ライブラリ (DML) に関する国際研究集会 DML 2009—Towards a Digital Mathematics Library, Ontario, Canada, Jul 8-9, 2009 が開催され、日本数学会から

行木孝夫委員が派遣されました。行木委員は、日本における数学文献の電子化について発表を行うとともに、AMS や Project Euclid など他の DML との技術的な交流を深めました。この研究集会の報告が「数学通信」のこの号に掲載されております。また、より詳細の報告を作成して、日本国内のジャーナルの関係者に配布することを予定しております。

なお、情報システム運用委員会は DML として JDML サーバー

<http://jdml.mathsoc.jp/jdml/>

を公開しております。今後は、この JDML の内容充実に務めてまいります。

(情報システム運用委員長 戸瀬信之 記)